



「マイ・タイムライン」を作ってみよう!

台風が発生してから川が氾濫するまでの、自分がとるべき行動を書き出してみましょう!
※情報が発信されるタイミングは例であり、必ずしも下記のとおりには限りません。※川の写真はイメージです。
※災害発生情報は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。



P.5・6の作成例を
参考にしてみよう!

作成
年月日 年 月 日

氾濫までの時間	行政からの情報 行政の動き	想定される気象 河川の状況	マイ・タイムライン	ポイント
3日前	台風予報(早期注意情報) 警戒レベル1 相当 大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル2 相当	台風が発生 台風が近づくとつれ、雨が降り始める。 だんだん雨が強くなる。 雨がさらに強くなり、川の水位も上昇し始める。	<h2>マイ・タイムライン</h2>	非常用持出品の例 <input type="checkbox"/> 食料・飲料水 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 薬、お薬手帳 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ヘッドライト <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> その他、自分に必要なもの
2日前	大雨警報・洪水警報 			情報の取得方法 気象情報 避難情報 川の水位の情報
1日前	水防団が待機 水防団が出勤 	川の水位が 水防団待機水位 に到達 川の水位が 氾濫注意水位 に到達 		避難について 避難の方法 避難する場所 避難先までの所要時間
半日前	避難情報 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 発令 ・緊急速報メール(エリアメール)	川の水位が 避難判断水位 に到達 		逃げ遅れないこと! 過去の水害において、避難情報が出ているにも関わらず、自宅に留まり、避難できなくなった方々がありました。命を守るために重要なのは、 逃げ遅れないこと です。今までの台風でも避難の必要はなかったから今回も大丈夫とは限りません。避難できない状況になる前に避難するようにしましょう。
4時間前	避難情報 警戒レベル4 避難勧告または避難指示(緊急) 発令 ・緊急速報メール(エリアメール)	川の水位が 氾濫危険水位 に到達 		垂直避難 避難が遅れたことにより、外に避難することが危険な場合、垂直避難(上の階への避難)も選択肢のひとつになります。
2時間前	氾濫が発生	氾濫が発生		【逃げ遅れた場合】 命を守る最善の行動
0時間	災害発生情報 警戒レベル5 災害発生情報 発表 ・緊急速報メール(エリアメール)		川の水が氾濫する時間から逆算して、いつまでに避難を完了させればよいか、考えましょう。 いつ、どのような行動をとるべきか迷ったときには、『大雨警報が発表されたら持ち出し品の準備をする』や『氾濫注意水位になったら避難を始める』など、気象情報や川の水位と自分の行動を対応させると、わかりやすいです。	

3

4

